

2024年

2024年12月5日

北海道地方 11月の天候

札幌管区気象台
気象防災部 予報課

概況

— 高気圧に覆われやすく、西高東低の気圧配置が長続きせず多照。太平洋側では少雨。 —

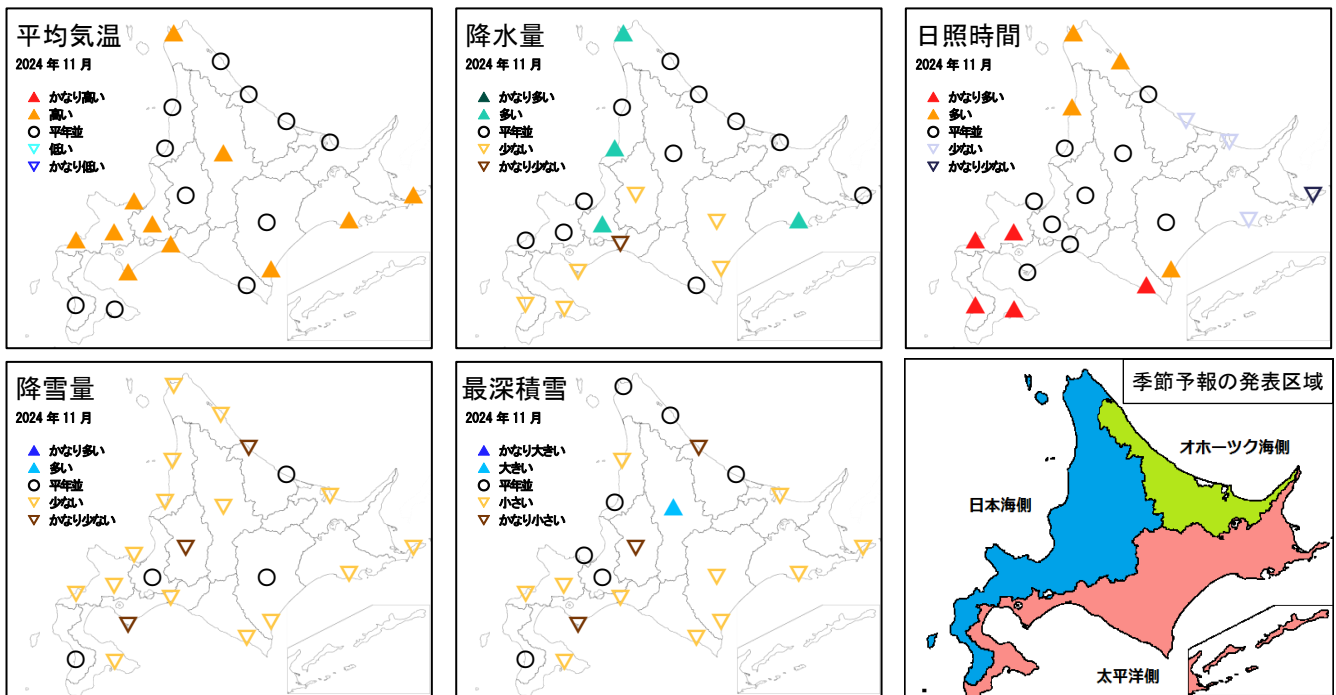
11月は、高気圧に覆われやすく、西高東低の気圧配置が長続きしなかったため、日照時間は多かった。また、低気圧や前線の影響を受けにくかったため、太平洋側では降水量が少なかった。寒気の影響を受けにくかったため、北海道地方の気温は高く、降雪量は少なかった。

上旬：4日に低気圧が通過した後、西高東低の気圧配置が強まったため、日本海側とオホーツク海側では曇りや雪または雨の日が多かった。このため、日照時間は日本海側とオホーツク海側で少なかった。また、降水量は日本海側で多く、太平洋側では少なかった。

中旬：高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、日照時間は日本海側でかなり多く、オホーツク海側と太平洋側で多かった。また、降水量は太平洋側でかなり少なかった。寒気の影響を受けにくかったため、北海道地方の気温は高かった。

下旬：西高東低の気圧配置となった日が少なく、また低気圧や前線の影響を受ける日も少なかったため、日本海側を中心に晴れた日が多かった。日照時間は日本海側でかなり多く、北海道地方及び太平洋側で多かった。一方、27日に低気圧の影響や南から暖かく湿った空気が流れ込んだ影響で、釧路地方の塘路で日降水量が91.5mmと、1983年の統計開始以降11月として多い方から第1位を観測するなど、太平洋側を中心に大雨となった。このため、太平洋側の降水量は多かった。寒気の影響を受けにくかったため、北海道地方の気温は高かった。

階級分布図



- ※ 本資料では、次のような階級を用いる。「低い（少ない、小さい）」「平年並」「高い（多い、大きい）」の階級は、1991～2020年における30年間の観測値をもとに、これらが等しい割合で各階級に振り分けられる（各階級が10個ずつになる）ように決めている。また、値が1991～2020年の観測値の下位または上位10%に相当する場合には、「かなり低い（かなり少ない、かなり小さい）」「かなり高い（かなり多い、かなり大きい）」と表現する。
- ※ 概況欄における気温の高い・低い、降水量と日照時間の多い・少ない、積雪深の大きい・小さいという記述は、前項の階級を基準とする。かなり高い・かなり低い、かなり多い・かなり少ない、かなり大きい・かなり小さいについても同様。
- ※ データは速報値であり、後日変更される場合がある。

月の統計値(地域平均)

	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+0.7	+	89	0	111	+	35	-
日本海側	+0.7	+	101	0	117	+	55	-
オホーツク海側	+0.6	0	93	0	101	0	40	-
太平洋側	+0.8	+	73	-	108	+	7	--

旬の統計値(地域平均)

上旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	-0.2	0	88	0	85	-	69	0
日本海側	-0.3	0	119	+	66	-	111	+
オホーツク海側	-0.3	0	111	0	92	-	25	0
太平洋側	-0.1	0	38	-	104	0	0	0

中旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.1	+	66	-	134	++	38	-
日本海側	+1.2	+	91	0	157	++	65	0
オホーツク海側	+0.9	+	81	0	122	+	37	-
太平洋側	+1.0	+	26	--	112	+	0	--

下旬	平均気温		降水量		日照時間		降雪量	
	平年差(℃)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級	平年比(%)	階級
北海道地方	+1.3	+	115	0	126	+	35	-
日本海側	+1.1	+	92	0	153	++	49	-
オホーツク海側	+1.3	+	84	+	89	0	46	-
太平洋側	+1.4	+	159	+	110	+	11	-

注) ・数値は、地域内の気象台等(日本海側10地点、オホーツク海側4地点、太平洋側8地点で北海道地方全体で22地点)の観測値の平年差または平年比の平均を示す。階級の++は平年よりかなり高い(多い)、+は平年より高い(多い)、0は平年並

月の統計値（地点別）

官署名	平均気温			降水量			日照時間			降雪量			最深積雪		
	本年 ℃	平年差 ℃	階級	本年 mm	平年比 %	階級	本年 h	平年比 %	階級	本年 cm	平年値 cm	階級	本年 cm	平年値 cm	階級
札幌	6.0	+0.8	+	134.0	118	+	98.7	100	0	35	30	0	12	15	0
稚内	4.7	+0.9	+	152.5	126	+	71.9	129	+	25	41	-	9	15	0
北見枝幸	3.7	+0.7	0	126.0	102	0	95.3	121	+	30	59	-	19	23	0
旭川	3.2	+0.9	+	101.5	89	0	64.2	95	0	59	82	-	30	27	+
留萌	4.8	+0.4	0	170.0	121	+	54.1	104	0	20	35	-	8	13	0
羽幌	4.9	+0.5	0	183.5	114	0	64.3	120	+	23	44	-	8	18	-
岩見沢	4.5	+0.6	0	80.5	68	-	86.3	102	0	15	70	-	9	29	-
倶知安	3.5	+0.6	+	159.5	87	0	90.2	138	++	37	95	-	17	36	-
小樽	5.8	+0.9	+	163.0	107	0	80.4	101	0	17	36	-	9	15	0
寿都	6.4	+0.8	+	139.0	94	0	74.5	135	++	12	24	-	4	9	-
網走	4.5	+0.5	0	52.0	90	0	103.9	86	-	4	13	-	2	6	-
紋別	4.2	+0.6	0	61.0	94	0	98.6	95	-	12	21	0	6	9	0
雄武	3.5	+0.6	0	65.0	84	0	98.9	101	0	6	31	-	2	13	-
釧路	5.6	+0.9	+	69.0	107	+	161.3	96	-	-	4	-	-	3	-
根室	6.6	+1.0	+	72.5	87	0	121.0	82	-	-	2	-	-	2	-
帯広	4.2	+0.7	0	37.5	69	-	174.5	104	0	3	10	0	2	7	-
広尾	6.3	+1.1													